

# 「核兵器運搬 排除せず」

8/6  
D  
補  
中

## 安保法案で防衛相

### 実現性は強く否定

中谷元・防衛相は5日の参院平和安全法制特別委員会、安全保障関連法案に基づく他国軍への後方支援をめぐり「核兵器の運搬も法文上は排除していない」と述べ、理論上は可能との見解を示した。非核三原則などを理由に「要請があっても拒否する」として実現性は強く否定した。だが野党は法的な論止めはないと懸念、時の政権の判断によって運搬が可能になる余地が残ると批判を強めた。

中谷氏は特別委で、核ミサイルの運搬は可能かとの質問に対し「法律上、特定の物品の輸送を排除する規定はない」と述べた。生物兵器や化学兵器などの輸送も禁止していないと説明した。

田文雄外相は「わが国の核に対する政策、姿勢を考えた場合、核を運搬することは決してあり得ない」と表明した。中谷氏も「非核三原則を堅持し、核拡散防止条約(NPT)も締結している。輸送に協力することはあり得ない」と強調。同時に「現行の周辺事態法でも輸送の対象から除外していない。民主党政権下でも法改正されなかった」と述べた。

民主党の枝野幸男幹事長は記者会見で「安倍政権は武器輸出三原則も大胆に緩和した。脱得力がない」と指摘し、核兵器運搬を法的に規制すべきだと主張した。共産党の田原一國対委員長は「法案の危険性が明確になった。廃案以外にない」と断言した。

非核三原則は唯一の戦争被爆国である日本の「国是」とされるが、国会決議のため法的拘束力はない。

中谷氏は、生物兵器・化学兵器について「明文規定はないが、条約を結んで大量破壊兵器の拡散防止に取り組んでいる。輸送を行わないことは当然」と述べた。

### 中谷防衛相答弁と与野党幹部発言

- 中谷 元** 防衛相  
核兵器の運搬も法文上は排除していない(参院特別委での答弁)
- 西田実仁** 公明党参院幹事長  
政府は非核三原則を固く守るとしており、その枠から外れてはならない(記者会見)
- 枝野幸男** 民主党幹事長  
法案の問題点が次々と明らかになっている。世論と共に廃案に追い込む(記者会見)
- 穀田恵二** 共産党国対委員長  
法案の危険性が明確になった。廃案以外にないとする大きな出来事だ(記者会見)

### 答弁 波紋広がる

広島、長崎の「原爆の日」を前にした5日、安全保障関連法案をめぐり核兵器運搬も排除しないとする中谷元・防衛相の答弁が波紋を広げた。政府は「現実的にあり得ない」と否定するが、与党内では、安保法案に対する世論の懸念が一層強まるとの声も漏れる。公明党は自民党議員のツイッター問題と合わせ、逆風

### 与野党 逆風警戒 危うさ証明

を警戒。野党は、法案の危うさが証明されたとして引き続き追及する。

「法文上、輸送は可能だ」。5日の参院特別委員会、中谷氏は、自衛隊は後方支援で核兵器を運べるかとの民主党議員の質問に、こう答弁した。日本には非核三原則があるため、実際には起こり得ないとの見方も強調。広島出身の岸田文雄外相は「法律の現状を今、承知した」と明かした。

安保法案をめぐる国会論議での政府答弁を受け、自衛隊の海外活動と政府の裁量に際限なく広がる懸念は消えない。集団的自衛権行使の基準について「総合的に判断する」として明示を避ける安倍晋三首相の姿勢などが要因だ。

自民党幹部の一人は「自衛隊は何でもできるようにするのはないかとの心配が強まる」と、中谷氏の答弁が法案

た。脱得力がない」と指摘し、核兵器運搬を法的に規制すべきだと主張した。共産党の田原一國対委員長は「法案の危険性が明確になった。廃案以外にない」と断言した。

非核三原則は唯一の戦争被爆国である日本の「国是」とされるが、国会決議のため法的拘束力はない。

中谷氏は、生物兵器・化学兵器について「明文規定はないが、条約を結んで大量破壊兵器の拡散防止に取り組んでいる。輸送を行わないことは当然」と述べた。

次々に出てくる」と、政権の弱さを指摘した。枝野氏は「政権の責任を厳しく追及する」と出席する7、10両日の衆参両院の予算委員会集中審議にも狙いを定めた。

枝野氏は「政権の体質を厳しく追及する」と予告した。